

Reference Tool

取扱説明書

DECR-1400J

4-140-137-01(1)

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。特に「安全のために」は必ずご覧ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

機器認定について
本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
また本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。
認証機器名は次のとおりです。
認証機器名： DECR-1400J
ただし、以下の事項を行うと法的に罰せられることがあります。
● 本機を分解／改造すること
● 本体底面にある証明番号を消すこと

周波数について
本機は2.4GHz帯を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■ **本機の使用上の注意**
本機の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

2.4DS4/OF4

2.4FH2

本装置は、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムとして使用可能な帯域全てを使用する無線設備であり、変調方式としてはDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は40mであり、移動体識別装置の帯域を回避可能です。また本装置は変調方式としてFH-SS方式を採用しています。与干渉距離は20mであり、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

JIS C 61000-3-2(高調波電流規格)適合品

警告安全のために

当社製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ず守ってください。

「安全のために」の注意事項を守る
「安全のために」の注意事項をよく読んでください。本体および周辺機器を安全に使うための注意事項が書かれています。

定期的に点検する
設置するときは、次のことを点検してください。また、設置したあとも、1年に1度は点検してください。
● 電源コードに傷みはないか？
● 電源コードのプラグとコンセントの間や通風孔に、ほこりがたまっていないか？

故障したら使わない
動作がおかしいときや壊れたとき、電源コードが傷ついたときは、お問い合わせ先に相談してください。

異常が起きたら
変な音やにおいがする／本体が異常に熱くなっている／煙が出ている
① 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
② お問い合わせ先に連絡する。

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文を読んでください。

■ 危害や損害の程度

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災／感電／破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災／感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる場合があります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

■ 図記号の説明

行為を禁止する図記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する図記号

指示

プラグをコンセントから抜く

アース線を接続せよ

製品全般についてのご注意

警告

電源コードを傷つけない

コードが傷ついたまま使うと、火災や感電の原因となります。
● 壁や棚などの間にはさみ込まない。
● 加工しない。
● 熱器具に近づけない。加熱しない。
● 物を載せない。引っ張らない。
● 本体を移動するときは電源コードのプラグを抜く。
● 電源コードを抜くときは、プラグを持ってまっすぐ抜く。

禁止

指定の電源コードを使う

指定以外のものを使うと、火災や感電の原因となります。

指示

分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となります。また、ディスクを読み出すためのレーザー光が目に入ると視力障害を起こす原因となります。

分解禁止

内部(端子類、通風孔、ディスクスロット)に水や異物を入れない

火災や感電、故障の原因となります。水や異物が入ったときは、すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜き、お問い合わせ先に相談してください。また、このときに、他の機器を接続したままにすると、機器の故障の原因となります。

禁止

油煙や湯気の当たる場所、湿気やほこりの多い場所に置かない

火災や感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、電源コードやLANケーブル、本体にさわらない

感電の原因となります。

接触禁止

ぬれた手で電源コードのプラグにさわらない

感電の原因となります。

ぬれ手禁止

長期間使わないときやお手入れをするときは、電源コードのプラグをコンセントから抜く

火災や感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

通風孔をふさがない

本体が過熱して、火災やけが、故障の原因となります。風通しを良くするために次のことを守ってください。
● 壁などから10cm以上離して設置する。
● 毛足の長いじゅうたんや布団の上に設置しない。
● 密閉された狭い場所に押し込まない。
● 布などで包まない。
● ほこりをためない。

禁止

直射日光の当たる場所や、熱器具の近くなど高温になるところに置かない

火災や故障の原因となります。

禁止

接続するときは、端子類にほこりや異物が付いていないか確かめる

本体や電源コードなどの端子に、ほこりや異物が付いているときは、乾いた布でふいてから接続してください。ほこりや異物を付けたまま使うと、火災や感電の原因となります。

指示

無線通信機能を使うときは、心臓ペースメーカーの装着部から22cm以上離す

電波により、心臓ペースメーカーの動作に影響を与えることがあります。

指示

病院など使用を禁止された場所や、電子機器*の近くでは、無線通信機能を使わない

電波が電子機器*に影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となります。

禁止

* 心臓ペースメーカー、その他医療用電子機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

注意

ワイヤレスコントローラのモーションセンサー機能を使うときは注意する

ワイヤレスコントローラのモーションセンサー機能を使うときは、次のことに注意してください。コントローラが人や物にぶつкаると、事故やけが、故障の原因となります。
● 使用する前に、周囲に十分なスペースが確保できているかを確認してください。
● 使用中はコントローラをしっかりと握り、手から投げ出されないようにしてください。
● コントローラをUSBケーブルに接続した状態で使うときは、ケーブルが周囲の人や物にぶつからないようにしてください。また、ケーブルが本体から抜けないように注意してください。

指示

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上などに置くと、本体や周辺機器が落ちて、けがや故障の原因となります。置き場所などの強度も充分に確かめてください。

禁止

横置き、縦置き以外の置きかたをしない

けがや故障の原因となります。

禁止

ディスクを入れたまま移動させない、置きかたを変えない

振動によりディスクに傷が付いたり、故障の原因となったりします。



禁止

本体とケーブル類は正しく配置する

ケーブルなどを足を引っかけると、本体が倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。



指示

本体の上に乗らない、物を載せない、他の機器と一緒に積み重ねない

倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。



禁止

本体や周辺機器を床に放置しない

つまずいたり、踏みつけたりして、けがや故障の原因となります。



禁止

本体を持ち運ぶときは気をつける

本体は、落とさないように注意して持ち運んでください。不安定な状態で持ち運ぶと、本体が落下し、けがや故障の原因となります。



指示

プラズマテレビやプロジェクションテレビ*に接続するときは注意する

残像現象(画像の焼き付き)が起こることがあります。特に静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。



指示

* 液晶(LCD)方式のテレビを除きます。

通電中の本体を長時間さわらない、通風孔からの排気に長時間あたらない

本体に皮膚がふれたままになっていたり、通風孔から排出される温風に長時間あたったりすると、低温やけどの原因となります。



禁止

電源コードをコンセントにつないだ状態でケーブル*を接続しない

感電の原因となります。



禁止

* USBケーブルを除きます。

LAN端子に指定以外のケーブルを接続しない

LAN端子は、10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプに対応しています。一般の電話回線や、ISDN回線などを直接LAN端子に接続しないでください。発熱や火災、故障の原因となります。



禁止

変圧器やDC/ACインバーターを使わない

海外旅行者用の変圧器や、自動車用のDC/ACインバーターなどに電源コードを接続すると、本体が発熱し、やけどや故障の原因となります。



禁止

アース線を接続する

アース線を接続しないと、感電するおそれがあります。アース線を取り付けることができない場合は、電気工事業者に工事を依頼してください。



アース線を接続せよ

不要になった本体や周辺機器は廃棄方法に注意する

本体や周辺機器は金属やプラスチックでできているため、燃やすと危険です。廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。



指示

使用上のご注意

設置上のご注意

次のような場所には設置しないでください。

- 不安定なところ
- 極端に寒いところや暑いところ
- 直射日光の当たるところ
- 油煙、湯気、湿気、ほこりの多いところ
- 風通しの悪いところ
- チューナーやテレビ、ビデオから近いところ
近くに置いたときに、雑音や映像の乱れが生じることがあります。
- 振動の多いところ

結露について

本機やディスクを寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ直後などは、本体内部のレンズやディスクに露がつき(結露)、正しく動作しないことがあります。結露が起きたときは、ディスクを取り出してから本機の電源を切り、電源コードのプラグを抜いた状態で数時間放置してください。数時間たっても正常に動作しない場合は、お問い合わせ先に相談してください。

ハードディスクについて

本機には、ハードディスク(ソフトウェアやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。データが消失／破損、またハードディスクが故障しないように、次の点に注意してください。

- 振動する場所や不安定な場所では使わないでください。
- 本体の電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- データの書き込み／読み込み中は、本体の電源を切らないでください。
- スピーカーや磁石など、磁気を帯びたものを近づけないでください。

何らかの原因でデータが消失／破損した場合、データの復旧／修復はできません。また、データが消失／破損しても、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

主な仕様

仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

Reference Tool本体

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	約 290W
外形寸法(最大突起部除く)	約 325×98×274mm(幅×高さ×奥行き)
質量	約 4.7kg
動作環境温度	5℃～35℃
前面出力端子	● USB端子(4)
背面出力端子	● HDMI出力端子(1) ● LAN端子(1) ● Dev LAN端子<開発用>(1) ● 光デジタル出力端子(1) ● AVマルチ出力端子(1) ● AC電源入力端子(1)
その他	セキュリティロック穴(1)
内容品	● Reference Tool本体(1) ● 電源コード(1) ● AVケーブル(1) ● USBケーブル(1) ● 取扱説明書(本紙)(1)

本機の設定や操作方法について詳しくは、PLAYSTATION®3 Developer NetworkのWebサイトからダウンロードできるPLAYSTATION®3ランタイムライブラリSDKドキュメントパッケージ内のドキュメントをご覧ください。

本機は国内専用品です。

This product is for use in Japan only.

MagicGate™(マジックゲート)とは、ソニー株式会社が開発した著作権保護技術の総称です。

米国輸出管理規則警告文

本製品は、米国輸出管理規則(Export Administration Regulations)の規制対象となるソフトウェアを含んでおり、米国政府が輸出を禁ずる国へ輸出または再輸出することはできません。また、米国から取引を禁止されている個人、団体に輸出または再輸出することはできません。

お問い合わせ先

本製品についての情報は、各地域の技術サポートWebサイトまたは販売窓口へお問い合わせください。



株式会社 **ソニー・コンピュータエンタテインメント**

"PS"および"PLAYSTATION"は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

"SONY"および""はソニー株式会社の登録商標です。また、"MagicGate"は同社の商標です。

© 2008 Sony Computer Entertainment Inc. All rights reserved.

Printed in Japan